

環境対策業務について

○宮崎県環境基本計画(経緯・趣旨)

○廃棄物の適正処理の推進

○大気・水環境の保全

○環境教育の推進

延岡保健所
衛生環境課 環境対策担当

宮崎県環境基本計画（策定の経緯）

平成8年3月 宮崎県環境基本条例 制定（平成8年4月施行）

第1条（目的） この条例は、環境の保全について、基本理念を定め、並びに県、事業者及び県民の責務を明らかにするとともに、環境の保全に関する施策の基本となる事項を定めることにより、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の県民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。

第9条（環境基本計画） 知事は、環境の保全に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、宮崎県環境基本計画を定めなければならない。

平成9年3月 宮崎県環境基本計画 策定（平成13年3月改訂）

平成18年3月 宮崎県環境基本総合計画（第二次）策定

平成23年3月 宮崎県環境計画（第三次） 策定（平成28年3月改訂）

令和3年3月 第四次環境基本計画 策定

- ・「持続可能な開発目標」（SDGs）の提示
- ・温室効果ガス削減等に向けた「パリ協定」の発効
- ・「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロ」首相表明

令和5年3月 第四次環境基本計画

- ・「地球温暖化対策の推進に関する法律」改正
- ・国の地球温暖化対策計画の改定
- ・2030年度の温室効果ガス排出削減目標を2013年度比26%削減から46%削減へ見直し

一部改定

脱炭素化に向けた国の動きに対応

第四次宮崎県環境基本計画（策定の趣旨）

計画策定等の趣旨

県では、平成28年3月に「宮崎県環境計画」を改定し、環境問題に対処するための施策を計画的に推進してきましたが、温室効果ガス削減に向けた国際枠組み「パリ協定」の発効や菅首相による「2050年温室効果ガス実質ゼロ」宣言など、情勢は変化し、環境問題は複雑かつ多様化してきています。

このため、令和3年3月に「第四次宮崎県環境基本計画」を策定し、脱炭素社会や循環型社会、自然共生社会の実現に向けた取組を進め、本県の恵まれた環境と自然豊かな郷土を将来の世代も享受できる持続可能な社会の構築を目指すこととしました。

また、策定以降の国の脱炭素化に向けた動きに対応するため、令和5年3月に計画の一部を改定しました。

計画の期間

令和3（2021）年度から令和12（2030）年度までの10年間

目標すべき環境像

ひと・自然・地域がともに輝く 持続可能なみやざき

令和12（2030）年度の温室効果ガスの削減目標

平成25（2013）年度比 50%削減

第四次宮崎県環境基本計画（策定の趣旨）

分野別の施策の展開

◆脱炭素社会の構築

- 温室効果ガス排出削減
- 再生可能エネルギー等の導入促進
- 二酸化炭素吸収源対策
- 気候変動への適応

◆循環型社会の形成

- 4 Rの推進
- 廃棄物の適正処理の推進
- 食品ロスの削減
- 環境にやさしい製品の利用促進

◆地球環境、大気・水環境等の保全

- 地球環境、大気環境の保全
- 水環境の保全
- 化学物質対策
- 環境負荷の低減等

◆生物多様性の保全

- 生物多様性の確保
- 多面的機能を持続的に発揮する豊かな森林づくり
- 自然豊かな水辺の保全と創出
- 自然とのふれあいや配慮

◆環境保全のために行動する人づくり

- 環境教育の推進
- 環境保全活動の推進

◆環境と調和した地域・社会づくり

- 環境にやさしい地域・産業づくり
- 快適な生活空間の創出

廃棄物の適正処理の推進

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物処理業者に対する許可等を行っています。また、廃棄物監視員による監視パトロールの実施、不適正処理の監視指導、排出事業者への指導や啓発等を行っています。



処理業者等への立入り



各種キャンペーン

大気・水環境の保全

～ 大気測定、水質検査 ～

大気汚染監視局を県内各地に設置し、大気の状態を常時監視しています。測定結果は、「みやざきの空」で確認することができます。

みやざきの空

宮崎県内の大気測定結果や発令状況をご覧ください。

TOP	リアルタイム 情報	個別 日報	項目別 日報	濃度推移 グラフ	濃度の 地図表示	光化学オキシダント 注意報等発令状況	PM2.5注意喚起 発令状況	その他項目 注意報等発令状況
-----	--------------	----------	-----------	-------------	-------------	-----------------------	-------------------	-------------------

測定局と測定項目 環境基準 大気測定結果（確定値）のダウンロード 注意報等のメール配信サービス リンク

現在、県内に注意報・警報は発令していません。 現在、県内にPM2.5の注意喚起は行っていません。

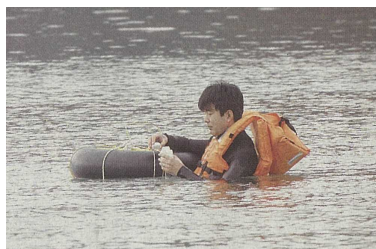
宮崎県からのお知らせ

- ◆新延岡自動車排出ガス測定局にPM2.5測定機を新たに設置し、平成31年1月18日から測定を開始しました。
- ◆都城自動車排出ガス測定局にPM2.5測定機、西米良村健康増進広場測定局に光化学オキシダント測定機を新たに設置し、平成29年9月8日から測定を開始しました。
- ◆平成29年4月1日、大宮小学校自動車排出ガス測定局の測定を開始しました。

携帯電話からのアクセスは次のURLをご利用ください。
<http://www.miyazaki.taik.jp/kankyo/taki/mobile/>
※表示項目は速報値（項目別、局別）のみです。



水質の状況を把握し、水質の維持・向上を図るため、事業場や公共用水域、地下水の検査を定期的に行っています。



～ 浄化槽の適切な維持管理 ～

○浄化槽設置者講習会
・毎月第3水曜日

新たに浄化槽を設置される方を対象に、浄化槽に関する正しい知識の啓発と適切な維持管理に役立てることを目的として開催しています。

○「浄化槽の日」キャンペーン
・コープみやざき浜町店

（県・延岡市・浄化槽関連業界等）

10月の「浄化槽適正管理推進月間」に合わせて、啓発グッズ及びチラシを配布し、浄化槽適正管理に係る啓発活動を実施しています。



【環境保全のために行動する人づくり】

環境教育の推進 ～ 水辺環境調査の実施 ～

身近な環境のことをもっと知ってもらうため、「水辺環境調査」と併せて、水辺環境の総合学習である「水辺の学習」を実施しています。

令和4年度は、恒富小学校32名の児童に、川の役割を学習する「事前学習」と、実際に川に出かけて野外調査する「水辺環境調査」を実施しました。



「自然の音」、「自然の風景」、「水の透明度」、「水のおいしさ」、「水のきれいさ」、「水生生物」について調査し、結果をまとめました。



令和元年度末 市町村別 汚水処理人口普及率

